

1. 所属連盟・名前： クラブ連盟 辻 穂奈美
2. 大会・研修会名： 全国 YOC 2013
3. 日程および会場： 2013年 8月9日～11日  
埼玉県立スポーツ研修センター、上尾運動公園体育館
4. 講師：吉田 憲生、安富 朗、東 祐二、安西 郷史、小澤 勤、  
平野 彰夫、田久保 藍子、山崎 人志、前田 喜庸、中嶽 希美子、  
吉田 正治、渡邊 整、須黒 祥子、宇田川 貴生
5. 研修会のテーマ：若手審判の育成

6. 内容（講義・討論・実技など項目別に、できるだけ詳細に）

**実技** 「ランニングフォームについて」 講師：齊藤 太郎、田中 悠里

- ・ランニングでは、脚筋力ではなく体幹を使う。  
体幹で生み出した力が末端へと伝達される。
- ・疲れないようにきれいなフォームで走るためには、「こ・け・し」を意識する。  
「こ」...骨盤（脚の付け根）を前傾させる  
「け」...肩甲骨（腕の付け根）を利用して腕を引く  
「し」...姿勢はS字ライン

**講義** 「海外に目を向けたときにわかること」 講師：橋本 信雄、須黒 祥子

- ・ファウルについて  
日本人はOFとDFのどちらが悪いかをはっきり示したが、ファウルをコールする。そして、わからなければ流すということもあるが、海外では、両方が悪いということでダブルファウルを取り上げるケースも多い。
- ・トラベリングについて  
日本の高校生のほとんどがトラベリングをしている。海外では、日本の高校生のようなステップはない。正しい技術を伝えられるように、強い意志を持って判定しなければならない。

**講義** 「ルールについて」(DVD) 講師：平野 彰夫

- ・ブラインドからの判定  
「わかった」と「見えた」は異なる。「わかった」だけで、ブラインドからの判定をしないようにする。見える位置に動くにはどうすればいいかを考える。
- ・シリンダー  
DFは、どれほど急にOF（ボールを持ったプレーヤー）の前に入ってもいいが、トルソーで受けなければならない。シリンダーを確認する。

**講義**

「審判とは？（自分を変えるために）」 講師：宇田川 貴生

## ・ 審判の仕事

ルールブックに基づいた二者択一（ファウルかそうでないか、ヴァイオレーションかそうでないか）の決断を笛によってすることである。判定（決断）を裏付けるためには、ルールブックの正しい理解が必要となってくる。

## ・ 判定基準

判定基準には、「正しい判定基準」と「より良い判定基準」がある。

「正しい判定基準」とは、判定の裏付けとなるルールブックの理解、動き・位置取り・協力といった正しい判定を行うために必要な方法としてのメカニクスの理解により成立する。これが審判員にとっての原点である。

「より良い判定基準」とは、ゲームの流れ・選手の状況・得点差・残り時間などを踏まえ、ゲームに合った判定を行うことである。この「より良い判定基準」を構築していくためには、感じる力・決断する力・信頼感を得ることが必要条件であり、これは「人間性の向上」として、日常生活と密接に関わりあってくる。

**実技**

高校生男女のモデルゲーム

**甲府昭和 - 逗子 主審：片岡 慧祐（岩手） 副審：辻 講師：中嶽 希美子**

## ・ DFの手の使い方

リーガルガーディングポジションからシリンダーを侵して手を出している。そういったところに危機感を持たなければならない。

## ・ リードの動き

リードのノーマルポジションから右サイドへ行くのが遅い。選手が来てからでは遅い。ポストが空いていたら右サイドへ行き、選手が来るのを待つようにすると良い。すると、止まって判定することもできる。

## ・ 2人の協力

お互いのポジションを意識しながら動いていた。

面が変わったときに、協力しながら見ることができていたのが良かった。

**逗子 - 春日部東 主審：松浦 咲（東京） 副審：辻 講師：中嶽 希美子**

## ・ スペースウォッチング

「動かなければならない」「吹かなければならない」と考えるのではなく、確認をするために、スペースをとらえるようにする。

## ・ リードの動き

リードのノーマルポジションから、右サイドのプレーを見ていることが多い。右サイドのプレーを見たいのであれば、そちらへ動く。

**川越南 - 都立駒場****主審：三角 隆至（東京） 副審1：石村 陽子（大阪） 副審2：辻 講師：吉田 憲生**

常にリードの動きを意識し、視野に入れておくことがスリーパーソンを行う上でとても重要なことである。リードがシュート直前に右サイドへ移動したとき、センターとトレイルが入れ替わっていると、次の速攻などのプレーに対して反応できないことがある。そのため、リードはすぐにノーマルポジションに戻るようにする。

## 7. 所感（刺激を受けたこと・滋賀県の審判に伝えたいことなど）

今回のYOCでは、「確認をするためにスペースをとらえに行くこと」と「ルールの正しい理解」が何度も言われていた。これは、裏付けのある判定をするためにとても大切なことであり、自分自身も見直していかなければならないと感じた。